広報南国

編集発行
南国市広報委員会
電話（代表451番）
印刷所
川北印刷KK

広報は……みんな
……読むもの……
……つくるもの

赤字一億二千六百万円

財政再建は順調にすすむ!!

35年度の決算できる

市では、三十五年度の決算書を作成しているが、それによると昨年度の税収は相当よく、納税率は九十七%を示している。しかし、前年度以前の繰越額を含めた調定額に対する市税の収入未済額は、約五百七十万円に上っている。

しかし、才入面での市税は収入額の二十九%をしめており、二十五%の地方交付税よりやや上廻っている。これについで多いのは二十二%の国庫支出金となっている。

一方才出では、諸支出金の二十九%を筆頭に、社会及び労働施設費の二十一%、ついで市役所費の十四%、教育費の十三%、土木費の六%とつづいており、市の発展のために力をつくさなければならない産業経済費は、僅か四%足らずにとどまっている。

諸支出金の大半は、前年度の繰上充用金の一億一千三百万円が、これをしめている。

決算における才入繰額は、三億四千六百二十二万三千九百五十九円で、予算現額四億八千九百六十一万三千円にくらべ、一億四千三百三十八万九千四十一円の減となり。調定額の三億五千三百二十二万一千三百九十二円とくらべて、収入未済額は、五百九十九万七千四百三十三円となっている。

才出をみると、支出額が四億七千二百七十六万八千二百七十五円となり、これが予算現額は、四億八千九百六十一万三千円である。

なお、決算書を費目別に見るとつぎのとおり。

「才入」　単位千円。

註、数字は収入済額で、（　）内は予算現額

市税、一〇一、一〇一、六九八（一〇一、一八二）、地方交付税、八七、四七七（八七、四七七）、公営企業及び財産収入、一二、八二〇（一六、九三二）、分担金及び負担金、八、二四六（一〇、七五七）、使用料及び手数料、二、八二七（二、六九二）、国庫支出金、七八、七五一（八四、五五四）、県支出金、六一、六八四（一七、九二三）、寄附金、一、八三四（九、五九四）、市債、一八、八〇〇（二六、五〇〇）、雑収入、一七、〇八三（一三二、九九九）

「才出」（数字は支出額）

議会費、八、六二二（八、七九九）、市役所費、七四、八二五（七四、九八八）、消防費、五、六一九（五、九五二）、土木費、三、二四八（三八、三一〇）、教育費、七七、八九八（七九、一三八）、社会及び労働施設費、九七、四三〇（九八、九四八）、保健衛生費、六、六四九（六、七八五）、産業経済費、一六、八七二（一九、七〇六）、財産費、二、九七六（二、二六七）、統計調査費、九三二（九五七）、選挙費、二、〇六七（二、一一五）公債費、一七、六一九（一七、七五六）、諸支出金、一三一、〇〇三（一三二、八一六）、予備費、〇（七〇）、

決算による赤字は、一億二千六百五十四万四千円となっているが、事業の施行が、おくれたため、起債や、補助金など二千四百二十万五千円が、翌三十六年度に交付されることとなった。

これがため才人欠陥となったものであるが、実質三十五年度に交付されたものとみなせば、赤字は一億一千二百三十三万九千円となり三十四年度に比べると、百二十一万三千円赤字が減少したこととなる。

このように、財政再建初年度からの歩みだしは、順調に進んでいるといえよう。

本号の主な記事

一　面
△35年度の決算できる
△市民のみなさまへ
二　面
△国保の現況について
△豆科学　考えましょう
三　面
△市内あちこち
△神経痛の治療について
四　面
△市民の声
△統合服と茨久田

商工会だより

小規模事業特別融資制度について

小規模事業特別融資制度についてこの制度は資金の借りにくい小規模事業者のためにてんと高知県が設けた制度で各地域商工会と商工会議所が取扱いをする。

1、どんな人がこの資金を借りられるか、今まで銀行その他の機関に取引のない人が主体で取引のある方も借ることが出来る。ただし、創業資金、奢侈、遊興を業とする企業は、借ることが出来ない。

2、どこに申込をするか。
経営改善普及員を通じて、商工会に申込む。

3、どの位借りられまたどの位の期間で返すか。
一口二〇万円を限度とし三カ月以内に毎月割賦で返済する。

4、金利は、
日歩3銭以内（保証料共）

5、資金の使いみちは
設備資金と運転資金に限る。

6、金融機関は、
四銀南国支店、高知相互後免支店商工中金県信用組合、岡民金融公庫、

なお別に信用保証協会の保証が必要である。

7、保証人　一　名

8、担　保　無担保

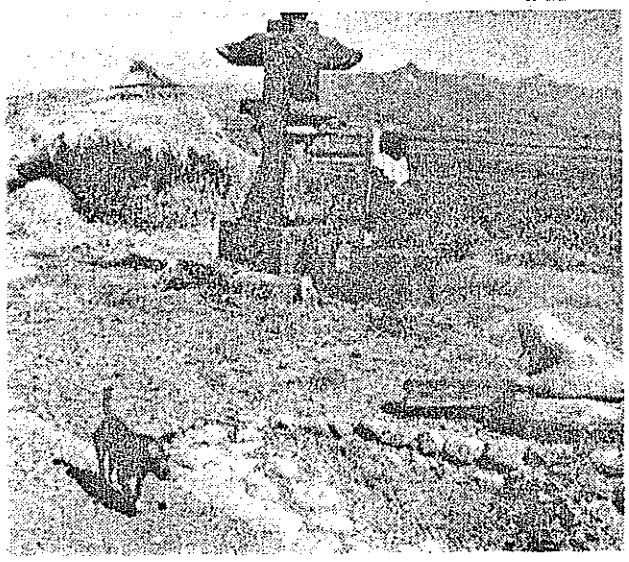
詳細は、南国市商工会にお問合せ下さい。

商工会定期巡回について
南国市商工会では各会員のため次のように定期巡回日を定めて経営上の一般指導と金融相談を行う。

定期巡回日　毎月二回

久　礼　地　区　五日　二〇日
日　章　前　浜　地　区　七日　二二日
三和、十市稲生地区　九日　二四日
後免、大篠長岡地区　一一日　二六日

当日が休日の場合は翌日とする。
地区責任者は各支部長



……久枝で……

小春日

公民館は頑張っている

最近、とかく社会教育が重要視され、問題になっているところであるが、南国市に一〇五という数を数える部落の公民館は、財政的にも、人的にも、その運営にあえいでいるが、ここ長岡地区にある末松公民館（館長竹村寅治）では毎月公民館報の発行や、映画会、園芸講習会など月四―五回の会合が開らかれ、活発な活動がつづけられているのはたのもしい限りだ。

なお、片山公民館なども、頻繁に利用されているとのことである。

市民のみなさまへ!!

去る九月二十七日市長室において、教育問題について市の民主団体と話し合い中第三者のちん入による傷害事件が発生したことは、まことに申訳けないことであります。したがって、将来ふたたびかかる事件が、起こらないよう厳に注意し、ここに改めて市民の前に陳謝の意を表します。

十一月十九日

南国市長　西村磯之、
南国市教育委員会委員長　西村信久

柔道で中学生を守る

南国警では最近中学生の犯罪が多くなったため、柔道によって力のはけ場を設けるとともに、心と体をきたえることにより非行を食い止めることにした。

このため市内の中学校全部に柔道クラブを組織することになり、とりあえず香南中学校に手を付け、指導を始めた。指導陣は署員で固め、土居四段、西岡二段などがひかえている。

（写真は基礎練習にはげむ香南中生）

海外移住放送だより

毎週火、木曜　PM 6.25～6.40
提供　日本海外協会連合会

30	28	23	21	16
木	火	木	火	木
南米アラカルト①	④〃	③（現地の声 パラグアイ篇）	②〃	アルゼンチン①にどうぞ
海協連アルゼンチン支部から送られてきた、現地のテープをきいながら、最近のアルゼンチンの模様を紹介。現地の音楽は大阪商船の協力による現地取材のもの。	現地取材のテープを中心に解説をするもの。解決は近く予定の海協連パラグアイ支部沢地降吉氏の帰国者の手続きの話題。	現地の解説をするもの。解決は近く予定の海協連パラグアイ支部沢地降吉氏の帰国者の手続きの話題。		

奇特な婦人

紅白のモチ贈る

後免町の敬老会は、月十五日中町公民館で開らかれたが、おとしより六十五人に紅白のモチを贈った奇特な人がいる。

この贈り主は、田所芳恵（57）さんといい、同町西町でモチつくりを商いとして生活をしている女性であって、敬老の念厚くかねておとしよりになにかおくりものと考えていたという。

さいわい敬老会を行うことをきき知りこんどの善行となったもの。

くらいニュースの多いこのごろにも、このようなかくれた美しい話のあることはうれしい限りだ。

第1回 南国市美術展

12月3日から10日まで

出品規定　資格は市内在住または市と土長両部に関係あるもの
作品　点数に制限ないが▽写真は四つ切り以上全紙まで▽その他の部門は制限ない。（会場の都合または会場にふさわしくないものは制限することがある）作品には陳列に必要な装置（額　標表紙など）をつけること。

出品目録　事務所（南国市教育委員会）にあり。
搬入期日　十一月三十日（午前九時から午後四時まで）
搬入場所　後免野田小学校
会場　後免野田小学校講堂
形式　審査しない。児童生徒の部の規定は別に定める。

東場老人クラブ

この九月発足したばかりの三和地区の、東場老人クラブ（代表浜口貞吉氏）の八人は、このほど安芸市にある県立養老院、清香園を、去る、十一日におとずれ、幸うすい人々を同じ老人の立場から話し合いはげましあった。

新年文芸募集

新年号をたのしくかざるために、市民の文芸をつのります。

一よみもの（原稿紙四枚以内）　俳句、短歌、マンガなど、

採用のものには、薄謝をおくります。

締切　十二月二十日

投票日は二十六日か

こんど行なわれる市長選挙の投票日は十二月二十六日になる見込みが強い。

市長選は、市民の意表をついて早やくなってきた。それは、議会議長から、十一月市の選管に、「西村市長は、十二月三十一日限りで退職する」旨の通告をしたからだ。▼これで当初一月か、おそくとも二月中旬頃か、と、いろいろ取りざたされた市長選も、現市長の在任する十二月末までに、後任市長が選出されるという突発的な状態となってきた。▼これは市政の空白を防ぐ意味からいっても、よろこばしいことであり。また、告示なき選挙戦もそれだけ短くなったことで、なんらかの結果が現われることだろう。公明選挙の足がかりともなれば幸いだが、どうなることか、……▲

しかし選挙線戦のスタートが浮きしくなってくるだろう。だが、▼とかく選挙には、ボスなり、ブローカーが暗躍するといわれる。このようなボスなり、ブローカーにおどらないだけの心構えを、有権者の一人一人がしっかり胸に持ってもらいたいものだ、そして美しく明るい選挙が行われるよう、良識のある選挙であってほしい。▼ましてこれから立候補しようとされる、愛国の志もお互に人格を守り、選挙の権利を尊重しあって、フェア・プレーで戦ってもらいたいものだ。▼それを見守る市民も自分の権利を正しく行使するため、き然たる態度でのぞんでもらいたい、公明選挙の掛声だけでなく……。

大鵬・柏戸ら八百人

前売券市で発売中

大相撲高知場所は、三年ぶりに12月21、22日の二日間高知市営相撲場で開らかれる。

こんど来高する力士は、新横綱大鵬、柏戸を加えた四横綱をはじめ、総勢八百名といわれている。

市の社会福祉協議会でも、これが前売券を発売しているので、利用されたい。

入場料金は、次のとおり。

「升席」
四千円（四人詰め一日）
「前売券」
大人五百円、高、中学生二百円、小学生百五十円。

「当日」大人六百円

なお、「前売券」は、市の各地区社会福祉協議会（但村単位）と、保護司により発売中、（詳細は市福祉事務所に問合せのこと）

「升席」は、県保護観察協会（高知市中島町）で発売。